

2021年 第21号

優楽広報誌

秋 号

みずから

優楽の親

『親（みずから）』
職員が積極的に利用者さまに
近づくケアを目指します



秋の深まり

事務課

自然に恵まれた施設の周辺では、虫の鳴き声がにぎやかになり、秋の草花が目を楽しませてくれます。しかし、時節柄、換気のため窓を開けることが多く、虫による被害への対策も必要です。雑草刈りや木の剪定など、中庭や外回りの手入れは施設運転手が業務の合間におこなっております。

深まる秋の気配を感じながら、利用者さまや家族さまに気持ちよく施設を利用していただけるよう、今後も努力してまいります。

デイケア

今年の夏は、雨の日が多く農作物に影響があったようですね。

8月に夏まつり週間を開催しました。昨年同様、家族さまやボランティアさんの参加はかないませんでした。当てものにたこ焼き、かき氷でお祭りの雰囲気を楽しんでいただけたかと思っています。



お祭りの終わりに、みなさんと一緒に踊った生駒音頭は盛り上がりしました。踊りの輪の中に、マスク越しではありますがみなさんの笑顔がたくさん見る事ができ、職員一同とてもうれしい気持ちになりました。



入所棟（看護・介護）

新型コロナウイルスによる感染状況もまだまだ収束の兆しがみられない状況ですが、そんな中でも入所されている利用者さまに少しでも夏を感じていただければという想いで、今年も8月末に施設内で夏祭りを開催いたしました。



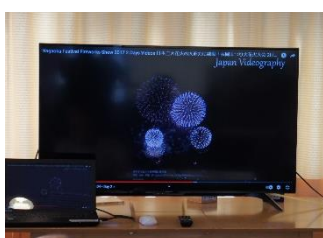
9月には、敬老会を開催しました。プロジェクトを使用して懐かしい映像を観ていただきました。利用者さまの手作りくまモンもプレゼントさせていただき、好評でした。



10月には、運動会を予定しています。お楽しみになさってください。

例年のような打ち上げ花火などの実施はできませんが、

オンライン花火大会を見ていただき、射的やスマートボール、当て物などのゲーム、スイカ割り、綿菓子や、そうめん、たこ焼きなどの食事を、通じて夏を感じ、楽しんでいただけたと職員一同感じております。



今後もコロナ禍のなかで難しい状況が続くことが予想されますが、その中でも利用者さまに楽しみを感じていただけるように、これからも映画観賞会などのイベントを企画、実施していきたいと考えています。



栄養課

みなさん、オリンピック見ました？
コロナ禍での開催、いろいろな意見がある中開催されましたが、いざテレビを見ると食い入るように見てしまいました。

選手が精一杯競技を行う姿や、競技が終わった後に口にされる感謝の言葉に感動しました。

そんな選手たちを支えるため、思いやりのある食事が選手村では用意され、選手たちを元気づけたようです

それから数ヶ月たちますが人が人の思いに感謝し、ともに支えあうことを大切にする気持ちを今も持ち続けて過ごしています。

そして『ありがとう』を今までよりたくさん言えるようになりました。



リハビリテーション室

空が高い朝の出勤、秋を迎えすがすがしい今日この頃です。
新型コロナウイルスワクチン接種が進み、少しだけ平穏な暮らしを取り戻しているように感じます。

しかし、ワクチン接種が未だできていない人や小さな子供を抱える家庭などでは、まだまだ大変な日々が続いているのではないのでしょうか。

ワクチン効果も100%というわけではないので、私たちにできること

『手洗い』
『うがい』
『マスクの着用』
を確実に行うことを
こころがけていきましょう。

食欲の秋、新米、栗、さつまいも、柿、いちじく、松茸、秋刀魚、もどり鰹など
美味しいものが旬を迎える季節。
コロナ禍では、食べ歩きもなかなかできませんが、早くお腹いっぱい食べに行きたいものですね。

みなさんも機能訓練に一生懸命に取り組んでいただき、自身の活動範囲を拡張、他人との交流をも広げ、生き生きと活動的な人生を送っていただければ、と切に願うところです。

この秋も頑張っていきましょう。



職員のつぶやき

理学療法士

埴田 さなえ

この秋に入職しました。
理学療法士の埴田さなえです。

いつも笑顔で感謝の気持ちを忘れずにモットーに日々を過ごしています。

本来なら今は、趣味のバイクと釣りの最高のシーズンなのですが、

コロナの影響で自粛気味。コロナ禍が明けるまでは、かわいいい二人の孫と楽しく過ごしています。



私は、今まで病院に勤務し、治療を目的としたリハビリを実施してきましたが、利用者さまと密接に関わり在宅生活を支える仕事がしたいと思っていました。

利用者さまに少しでも笑顔にそして心身ともに元氣になっていただけるようにこれから頑張っていきたいと思っています。



※介護老人保健施設とは※

疾病、傷害などにより介護が必要になったときでも、住み慣れた家庭・地域で自立した生活を営むことができるよう支援させていただく施設です。
医学的管理の下、ケアプランにもとづいてリハビリテーション、看護、介護などを行い、家庭介護の支援や自宅復帰を目指します。

◆利用できる対象者

介護保険の要介護認定において要支援以上の要介護状態と認定された方で、病状が安定していて介護が必要な方と、
40歳以上64歳までの特定疾患（例えば脳血管疾患、糖尿病性神経障害などの疾患が定められています）によって介護が必要な方やリハビリが可能な方。

◆施設サービスの種類

- 入所
- 短期入所サービス
- 通所リハビリテーション（長時間・半日）
- パワーリハビリテーション（短時間）

ご相談、ご利用申し込みは担当者までご連絡ください。

※通所リハビリテーション

無料体験実施中※

- パワーリハビリテーション
- ・午前の部 11時～12時15分
- ・午後の部 13時15分～14時30分
- 半日デイケア（ちよいデイ）
- ・11時～14時30分
- 長時間デイケア（通常デイケア）
- ・10時～16時

長時間デイケアでは、柔道整復師による施術も実施しています。
興味のある方は、ご連絡ください。

- 長時間デイケア体験スケジュール
- ・11時～12時 リハビリ体験
- ・12時～13時 ユニット活動（体操）
- ・13時～15時 昼食
- ・15時～16時 入浴
- ・16時～17時 おやつ
- ・17時～18時 レクリエーション
- パワーリハビリテーション・半日デイケアでも無料体験を実施しています。

●編集後記●相談支援課に新しく支援相談員が入職しました。これからも、利用者さまに寄り添い、ご家族さまの相談役として、関係機関のみなさまに助けをいただきながら、相談支援課一同がんばってまいります。新型コロナウイルス感染症対策は、今後もみなさまのご協力をいただきながら続けていかなければなりません。こんな時だからこそ、心のつながりを大切に、丁寧な気持ちで日々暮らしたいものですね。

生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜 優楽

TEL/0743-76-3300

<http://www.ikoma-yuraku.com/>

ご利用相談受付担当：藤尾 山崎 中溝（入所・ショート） 田中 藤林（通所）

